選挙・新市長・市議が決まりました。

金堂氏 次期市長に当選

中沢 溝淵 両氏議席を獲得

現池川市長の任期満了（十二月末日）にともなって、行なわれる市長選と、定数を二人欠いた市議会議員の補欠選挙の同時選挙は、この八日に行なわれ、翌九日に開票しました。

まず、市長選には告示とともに一つのイスを目指して、国府農協組長島井武義元市議長、非上満吉、市農委会長金堂久喜、県憲法問題事務局長竹村市雄、共産党南長地区副委員長大島紫成の五氏が即日立候補し、かってない激戦となりました。

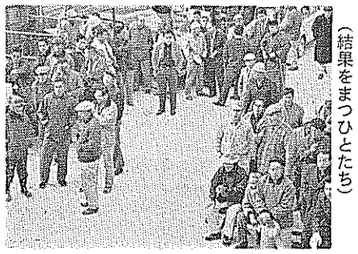
また、市議補選には元市教育委員山内一久、前市保険衛生課長中沢健、元市議浜田善治、同溝淵亀吾、晩和農料労働組合長堅田正治、製つく業坂本藤太郎の六氏の争いとなり、三倍の競争率となりました。

しのぎをけづった市長選では、開票の結果、スタートから金堂候補が得票を伸ばし、他の候補を始終引き離し、午後一時四十五分、金堂久喜氏が他の四氏をおさえ、わずか七百四十票の差で次期市長に当選しました。

また、市議補欠選挙では中沢健、溝淵亀吾の両氏がそれぞれ議席を獲得しました。

なお、市会議員の任期は、四十二年十一月四日までのあと二年間となっています。

当日の有権者総数は、二万七千八百九十人、投票総数、二万三千五百七十二人、棄権者数、四千三百十八人、投票率、八十四・五二%（男、八十二・二三%、女、八十六・五三%）でした。



（結果をまつひとたち）

なお、無効投票は、市長選で三百七十一票市議補欠選で千六百二十二票でした。

無効投票の多かったのは、市長市議補欠選の同時投票のためのもので、市議補欠選では候補者でないものの氏名をかいたものが、六百四票、白紙のまま投票したもの五百四十票の多数にのぼっています。

投票率の最高は94パーセント 西福寺投票所

激しい選挙戦をたどった今度の選挙で、投票率のもっとも高かったのは、九十四、四九％の第26投票区（野中五、六、七区）、つづいて九十三、七五％の第29投票区（国府）九十三、三三％の第25投票区（野中一、二、三、四区）で、最低は第34投票区（成合、天行寺）の六十六、四三％となっています。

とくに、男女別では、第29投票区の女子が、九十八、九〇％第8投票区（明見）の九十七、五％が最高で、男子の第34投票区、五十六、〇九％、第3投票区（物部）六十七、四四％が最低となっています。

▼市長戦開票結果

当選、八、五七三票 金堂 久喜（55）無新

次点、七、八三三票 島井 武義（45）無新

五、九八〇票 井上 満吉（66）無新

五三五票 竹村 市雄（42）無新

二八〇票 大島 紫成（30）共新

▼市議補欠戦開票結果

当選、五、九四〇票 中沢 健（44）無新

当選、五、六八一票 溝淵 亀吾（71）無元

次点、四、二八一票 山内 一久（48）無新

四、〇九一票 浜田 善治（34）無元

一、六七七票 堅田 正治（33）共新

三〇〇票 坂本藤太郎（69）無新

次期市長のよこがお

金堂久喜（こんどうひさき）氏（55）無所属

明治43年甘枝の生れ，県立農業学校，東京高等蚕糸学校を卒業後，昭和6年ごろから東京，岩手，福岡県の会社に勤め14年中国の華中蚕糸に，18年にはジャワ島の製糖会社に勤務，ジャワ軍司政官などをした。終戦後引き揚げ，22年旧長岡村助役，30年に同村長，31年後免町長をつとめた。

現在，市農業委員会長，山田ゼキ井筋土地改良区理事長。

家庭は春子（51）夫人と二人。

選挙・新市長・市議が決まりました。

多くの人たちの支持を得て、次期市長になることができましたことを心から感謝いたします。

ところで来年元旦の市長就任にさきだち、私の抱負といったものをのべてみたいと思います。

▽田園都市である南国市を西日本一の田園都市にする。そのためにまず、れい（畜）南総合開発事業の推進に全力をそそぎたい。幸いもめにもめぬいた物部川の合同ぜきは昭和四十二年には完成するので、土地改良事業に着手し、山間部のミカン、中部の米、タバコ、畜農、南部のそ菜園芸など適地適作をすすめ、造林については分収造林の普及をはかるなど地場産業の育成のための施策を推進したい。

▽地場産業の育成のためとともに、工場誘致など他産業の誘致についても努力したい。現在、パルプ工場の誘致が実現できそうである。

▽国道五十五号線を中心に新設されるバイパス道路、国道百九十五号線（木頭線）を結ぶ都市計画をも三代目市長である。発足以来いろいろ苦しいなかを進んできた。とくに財政的には最も苦しんできつつある。金堂新市長さんもこの苦しみや、三代目の基礎づくりを承知のうえでなられたからには、その力量を十分に発揮していただきたい。選挙戦のときの気持と、実施し、高知市のベットタウンとして発展を期したい。

▽小、中学校の統合、充実をはかり教育効果をあげ、また学校給食に生牛乳を使用させたい。社会教育面では婦人、青年たちの活動を助成し、市民体育館の建設、総合グランドも考えている。

▽民生委員の協力のもとに被保護家庭の自覚をうながし、増大する医療保護や生活保護の適正化に努力したい。

▽合併時の赤字財政は明四十一年度にすべて償還を終り、新市発足以来の赤字も順次解消できる見込みなので、これまで毎年赤字償還にあてていた二千万円をもとに、国から八千万円の補助金を獲得し年間一億円の建設事業を推進する考えだ。まず困っているし尿処理場の建設に取り組みたい。

そのほか、市庁舎やいろいろ山積して問題もありますが、ちく次実行に移ってゆき、物部川や国分川の水を利用し産業をおこしたい、と考えいます。

とくに私は、政党、政派との結びつきを排し、〃ヒモつき〃でない、四万三千の全市民のため、信念のある真の市政を行なうとともに、存分な事業をすすめてゆく心づもりであります。

主張

次期市長としての 私の抱負

金堂 久喜

次期新市長に望む

古きたとえであるが、徳川も三代目家光で基礎が固まった。本市の新市長……読んだだけでもなんとなく気持がよい。同じ就任する日でも一月元旦とは気持がよい、南国市の四年に一度の元旦である。

これほど立候補者の多いことは、こんどあるまいといわれるほどの選挙戦であった。

きたとえであるが、徳川も三代目家光で基礎が固まった。本市の新市長……読んだだけでもなんとなく気持がよい。同じ就任する日でも一月元旦とは気持がよい、南国市の四年に一度の元旦である。

これほど立候補者の多いことは、こんどあるまいといわれるほどの選挙戦であった。

苦しみや、三代目の基礎づくりを承知のうえでなられたからには、その力量を十分に発揮していただきたい。選挙戦のときの気持と、笑顔と、そのときに公約されたことがらを最後まで持ちつづけ、はたされるよう仕事をされて、南国市に名市長ありとその名をたかめていただきたい。

明四十一年度で赤字は解消される。しかし決して豊かになったというものではなく、赤字が解消されたといって市民お互いが奪いあってはなんにもならない。その点次期市長は十分市の財政をつかみゆき当り式でなく、多くの市民がのぞんでいるしごとの一つ一つを十分にそしゃくし、十カ年、または五カ年なり三カ年の事業計画をたて、ちく次実行に移してゆく、ことが市民に理解される市政といえる。計画性のある市政、前進する市政を次期新市長に望む。

市議のよこがお

中沢 健氏

県改田の出身、県立工業青年学校卒、22年シベリヤから帰国、23年三和村書記、37年保険衛生課の新設と同時に初代課長となる。40年おしまれて退職する。

この間、国保問題では、県下にさきがけて七割給付を実施、各市町村とも赤字で悩み、一般会計からの繰り入れで四苦八苦している状態だが、市の国保会計は終始健全に運営されている。

溝渕 亀吾氏

大埇の出身、高小卒、大篠農協理事、旧香長村議から南国市発足と同時に市議となり、総務、監査建設、教育民生委員を歴任、かたわら農研連合会長、衛生委員長として市政に貢献したが、前回の選挙で惜敗した。旧陸軍中尉、殊勲二十回という抜群の勲功で金鵄勲功五級を授与されている。